



羽合小学校 学校通信

平成26年5月30日 NO, 33

過程が大事！

さて、昨日の学校通信で突然、中学校総体の話を始めたのですが、今日もその続きです。

勝ち負けの話をしましたから、勝つことに価値がある（勝利第一主義）ように感じられた方もおありかと思います。しかし、私が言いたいのは「**勝つまでが大事**」だということなのです。

練習の質は目標で決まりますから、目標を高く掲げることは大切です。負けることを前提とする練習はありません。努力を必要としないからです。だからそれぞれ戦いのレベルはあるにしても「勝つ」という目標は大切だと思います。

しかし「勝つ」ということは最終目標ではありません。目標設定に必要であるだけです。

部活動をはじめとするすべての教育活動にはねらいがあります。教育活動は、努力すること、困難に立ち向かうこと、継続すること、仲間を大切にすることなど、**人として成長するために大切なことを学ぶ活動**でなければなりません。つまり、部活動も勉強も行事も、家庭での生活も地域での生活も、教育活動のすべては**人として成長するために大切なことを学ぶ手段**にすぎないのです。

だから、手段が目的化してはならないのです。勝つこと自体が目的になれば勝つことのみに価値があり、負けることには意味はありません。目的が達成できなかったのですから意味がないのは当然です。

わたしたちは部活動で何を学んでほしいのか、学級づくりで何を学んでほしいのか、行事で何を学んでほしいのか、家庭での生活で何を学んでほしいのか、明確に持っていなければならないのだと思います。

「**勝つまでが大事**」というのは、目標を高く掲げ、ねばり強く挑戦するといった**目標をかなえるまでの過程こそが大事な**のだということを意味します。結果が出るまでの過程を大切にすると、**導いた結果は価値を持ちます**。勝っても、負けてもその努力の過程は無くならないからです。人として成長できるからです。勝っても価値のない勝ちがあり、負けても価値のある負けがあることを忘れてはなりません。

手段のみに目を奪われることなく、こどもたちを導いていきたいものです。

【プール開き】

27日のプール掃除終了後から入れ始めた水は、まだまだ冷たいのですが、こどもたちは元気に水しぶきを上げています。今日はプール開きです。水泳が始まるといよいよ夏のはじまりです。憶えておられるでしょうか。プールに入った後のひんやりさらさらや、その後の授業の眠たかった事。こどもたちもそれを経験しながら大人になっていきます。保護者の皆様にはプール監視などでお世話になると思いますが、よろしくお願いします。

羽合小学校 寺谷英則